

## 『防災訓練を行いました』 9月5日(土) 生活安全部

近年、異常な強さの台風や洪水などがたて続けに発生し、各地に大きな被害をもたらしています。北海道でも最大震度7の胆振東部地震が発生し、江別市も震度6弱を記録した地震から2年が経過しました。私たちの地域も、何時このような災害に遭うか分からず、避難所の運営は避難者が行う事になるため自治会員全員が備えをしておく必要があります。

この度、令和2年度の野幌若葉自治会防災訓練を、江別市と野幌若葉小学校及び鉄南・西部自主防災協議会との共催により、新型コロナウイルス感染防止対策を盛り込んだ『新避難所運営マニュアル』に基づき避難所運営訓練を実施しました。当初の計画では、野幌若葉自治会の会員にも案内し、野幌若葉小学校の子どもたちも参加して300人規模の訓練を計画しておりましたが、コロナ禍の中で野幌若葉小学校体育館が『三密』にならない収容人数に制限し、野幌若葉自治会から会長・各部長・各区長22名の参加とし、野幌地区連・野幌鉄南自主防災協議会の役員、江別市職員・消防団の皆さんで総人員65名の参加で執り行いました。

江別市としては、『新避難所運営マニュアル』に基づく地域連携避難所運営訓練は、今年度初めての実施となりました。訓練は、午前9時から始まり、野幌若葉自治会役員が体育館に段ボール間仕切り、段ボールベット設置などの避難スペース設営を約2時間かけて行い、消防団の皆さんは屋外に事前受付スペース(テント2基)の設置を行ないました。段ボールベットの組み立ては、昨年も体験していたためスムーズに行うことが出来ました。

午後12時から、避難者の受入れが始まり野幌地区連・野幌鉄南・西部防災協議会役員の皆さんが避難者として集まりました。受付の際、全員がマスクを着用し検温・避難者個別カード・健康状態チェックリストの記載をしていただき、受付を担当した野幌若葉自治会役員が確認後避難所に案内を行う訓練を実施しました。慣れない作業ではありましたが、一手順ごと丁寧に確認を行いました。しかし、今回は人数が少なく地域の役員であったことから、スムーズな避難所運営を行うことが出来ましたが、災害発生直後の混乱時や悪天候時の対応に不安を抱く役員もおりました。



参加者は避難所の居住スペースを体験後、江別市防災担当者から避難所に関する説明を受け終了しました。また、今回の防災訓練に合わせ、野幌若葉小学校の児童と保護者の皆さまにも居住スペースを体験して頂きました。

今回の訓練から、どのような災害が私たちに降りかかったとしても、被害を最小限に抑える準備をしたいと感じました。

○今後の課題として

- ・江別市の「新避難所運営マニュアル」によると、野幌若葉小学校体育館の避難者の収容能力が100名以上から48名程度となった。基準の見直しが必要と思われます。
- ・避難者の受付では、避難者個別カード・健康チェックリスト記載（氏名・連絡先・家族構成・健康状態等）に時間を要し、悪天候や冬季間の待機場所の対策が必要と感じた。
- ・健康問題などは、自治会の担当者では判断の付かない部分があった。

（本多副会長 記）



## 『令和2年度要望会議を開催』 8月22日（土）

令和2年度の要望会議を理事会役員で開催しました。毎年、各区より多くの要望を、江別市並びに江別警察署に提出しておりますが、すべての解決策を引き出すことができず継続した活動を行ってきました。今年度は、子どもたちと高齢者の安心・安全をテーマに下記の要望事項を提出いたしました。

今後も、自治会会員の皆さまのご意見を、関係各所に声を上げる活動を継続して参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。

「要望事項」

1. 伊達屋敷通りの適切な地点に、横断歩道及び押しボタン式信号機の設置
2. 伊達屋敷通りと酪農学園への通学路が合流する地点に横断歩道を設置
3. 鉄東線から9丁目通りに入るT字路の交差点に横断歩道と定周期式信号機の設置
4. 高齢化に関する要望事項について
5. 自治会館運営補助金の増額について

### 若葉子供見守り隊 隊員募集!!

「気楽に・気長に・危険なく」をモットーに普段の生活の中で野幌若葉小児童を守る安心・安全活動を続けています。活動に参加したい、興味がある方は、各区長または生活安全部まで気軽にお声掛け下さい。

生活安全部 連絡先：野幌若葉自治会館 電話：011-384-4410

## 『第二回理事会の開催』 9月12日(土)

1. 開会の言葉：議長千葉副会長

2. 会長挨拶

- ・ 9/5 江別市の防災訓練に暑い中、参加頂いたお礼
- ・ 訓練では、避難所の設営・受付など、自治会としての役割・手順が理解できるものであった。
- ・ 江別市の防災訓練の目的は達成できたと思っており、機会があれば皆様も参加して頂きたい。

3. 議事

理事32名全員が出席、理事会は成立

(1) 会計部長不在に伴う臨時処置(総務部)

(2) 野幌若葉自治会館の運営について

- ・ 管理人の業務軽減に向けた取組み
- ・ 利用申し込み受付時間・受付方法の変更
- ・ 清掃業務の一部委託化

(3) 令和2年度文化部事業計画の見直しについて

- ・ 夏祭り・パークゴルフ・文化祭は、コロナ禍で中止
- ・ 各事業部の行事中止に伴う事業費の使い道については、12月の理事会で決定したい。

4. 報告連絡事項

①総務部：事業計画(年間スケジュール)は文化祭委員会、文化祭が中止となる。

②環境部

- ・ 10月より、ごみ収集日の変更(江別市配布収集日カレンダー参照)
- ・ 集団資源回収用「わかば」臨時号発行各区へ配布、会員へより一層の回収の協力をお願いする
- ・ ごみステーションの看板取り換えについて、17枚発注した(各区の予算で購入)
- ・ 江別市より防犯灯補助金(電気料金)交付に向け、会計部の代行として各区へ配布した
- ・ 来年度の防犯灯新設について、東6区より要請があり、2灯の計画を市へ10月申請予定
- ・ わかば保育園前の花壇に、オートバイが突っ込み破損した。現状復旧済み

③青少年育成部

- ・ 子どもまつり、夏レク中止
- ・ 作文コンクールの取りまとめ中(4点受理)
- ・ 10月部会の予定(議題：作文コンクール、冬のお楽しみ会について)

④社会福祉部

- ・ 長寿お祝い金報告(対象51名)、申し込み忘れの方がありましたら追加できます。
- ・ 地域交流の集いは、8/30第1回が終了
- ・ 地域交流の集い予定、9/26第2回(講和)、10/23第3回(成年後見人制度について)

⑤女性部：研修旅行、Eリズムは中止、今後の事業は様子を見て判断

5. その他

次回理事会等について(総務部)

- ・ 10/17(土)：組織見直し委員会 18:30より 出席者：三役、各事業部、各区の代表
- ・ 12/12(土)：第3回理事会 18:30より 出席者：理事(事業部長・副部長、各区長、監事)



## 『第一回地域交流の集い開催』 社会福祉部

コロナ禍の中、大変な日常生活を送り引きこもりぎみになる高齢者の方々が、少しでもリフレッシュできたらと社会福祉協議会の事業の一つ「地域交流の集い」を8月30日（日）に行いました。開催にあたっては、コロナ感染拡大防止のガイドラインを遵守し、参加者には検温・マスク着用・手の消毒の協力を頂き各区社会福祉部員の参加は見合わせました。

当日は、江別市教育委員会のスポーツ推進委員の指導で「ペタンク」体験しました。ソフトボール位の大きさのちょっと重いボールを投げ、小さなボールに近づけたチームが勝ちと言うルールで、参加した24名は4チームに分かれ対戦しました。ボールを投げるたびに拍手や歓声があがり、笑顔いっぱい盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

(社会福祉部副部長 山本滋子 記)



## 『令和2年度下半期行事予定』

- |                |           |          |
|----------------|-----------|----------|
| ●パークゴルフ大会      | 中止        |          |
| ●出前講座（Eリズム）    | 中止        |          |
| ●第3回地域交流の集い    | 10月23日（金） | 野幌若葉自治会館 |
| ●第37回文化祭       | 中止        |          |
| ●新年会（女性部）      | 1月16日（土）  | 野幌若葉自治会館 |
| ●自主排雪事業（環境部）   | 2月        |          |
| ●お楽しみ会（青少年育成部） | 3月        | 野幌若葉自治会館 |
| ●第53回定期総会      | 4月25日（日）  | 野幌若葉自治会館 |

「広報わかば」を含む各種情報が掲載されています。パソコン・スマホから、ご活用ください。

EMC 自治会活動 : <https://jichikai.ebetsu.org/>